



2019年 6月17日  
神島化学工業株式会社  
代表取締役社長 池田和夫  
(証券コード:4026)

# 2019年4月期 決算説明資料

～決算概要及び中期経営計画(ローリング)～



I	2019年4月期 業績	2	III	株主還元	22
	1. 業績概要	3		1. 株主還元	23
	2. 営業利益分析	4			
	3. セグメント別業績	5			
	4. 財政状態	8			
	5. キャッシュ・フローの状況	9			
II	中期経営企画（ローリング）	10	IV	補足資料	24
	1. 計画概要	11		1. 当社について	25
	2. 2020年4月期 業績予想	12		2. テクニカルセンター建設	36
	3. 2020～2022年4月期 業績計画（ローリング後）	13		3. 原材料市況価格の推移	37
	4. 化成品事業	14		4. 環境への取組み	39
	5. 窯業系建材事業	18			

## 注意事項

本資料には、神島化学工業の業績に関して、歴史的事実および将来の見通しが含まれています。これらの見通しは将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は様々な要素によりこれらの見通しとは異なることがあります。

# I 2019年4月期 業績



# I-1.業績概要

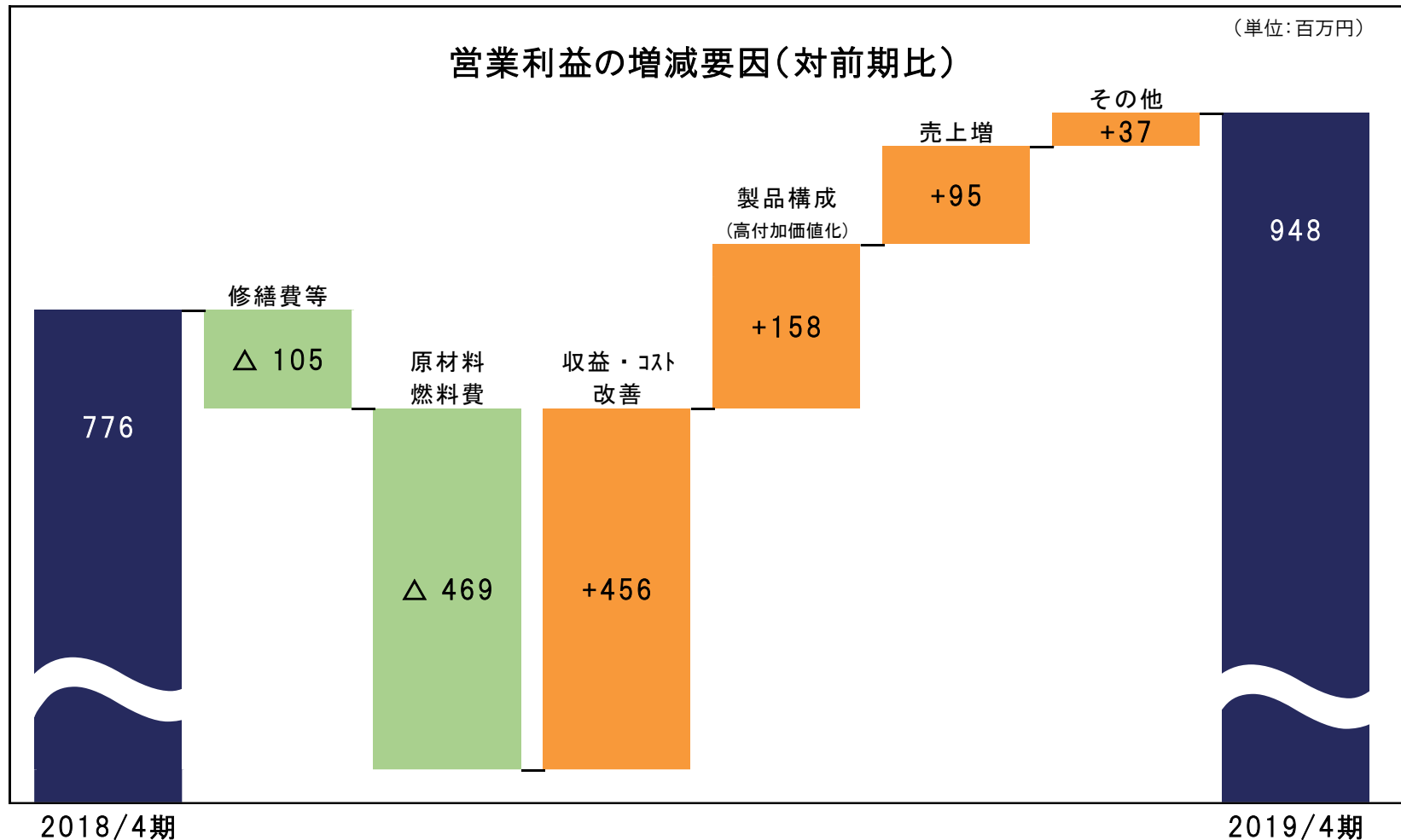
Konoshima Chemical Co., Ltd.

(単位:百万円)

	2018/4期 実績	2019/4期 実績	前期比		2019/4期 期初予想	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	21,604	22,201	+596	+2.8%	22,000	+201	100.9%
建材	14,858	15,056	+198	+1.3%	14,600	+456	103.1%
化成品	6,746	7,144	+398	+5.9%	7,400	△255	96.6%
営業利益	776	948	+172	+22.2%	810	+138	117.1%
※内 建材	197	528	+331	+167.7%	150	+378	351.0%
※内 化成品	1,200	942	△257	△21.5%	1,239	△297	76.0%
経常利益 (経常利益率)	700 (3.2%)	918 (4.1%)	+217 —	+31.1% —	730 (3.3%)	+188 —	125.8% —
特別損益(△損失)	△64	△48	+16	—	—	—	—
当期純利益	468	661	+192	+41.2%	530	+131	124.8%
減価償却費	995	1,024	+29	+3.0%	1,067	△42	—

※ 建材・化成品の営業利益は、全社費用調整前金額で表示

- ◇ 住宅市場は、新設住宅着工戸数が95.2万戸（前期比+0.7%）と、概ね横ばいで推移
- ◇ 売上高は、建材事業では住宅分野の軒天ボード、非住宅の耐火パネルが好調、化成品事業も国内を中心に増収
- ◇ 尚、予想比では、売上高は概ね予想通り100.9%、経常利益は建材事業の大幅改善により125.8%の達成率



- ◇ 営業利益は、原材料、燃料費のコストアップを、収益・コスト改善により吸収し、更に高付価値製品の販売に注力し増益

# I-3.セグメント別業績【窯業系建材事業】

Konoshima Chemical Co., Ltd.

(単位:百万円)

	2018/4期 実績	2019/4期 実績	前期比		2019/4期 期初予想	予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	達成率
売上高	14,858	15,056	+198	+1.3%	14,600	+456	103.1%
住宅	12,261	11,997	△263	△2.1%	11,780	+217	101.8%
内 高級軒天ボード	1,454	1,753	+299	+20.6%	—	—	—
非住宅	2,597	3,058	+461	+17.8%	2,820	+238	108.5%
(非住宅比率)	(17.5%)	(20.3%)	—	—	(19.3%)	—	—
セグメント利益	197	528	+331	+167.7%	150	+378	351.0%

- ◇ 売上高は、採算性重視の方針により一部住宅向けが減少するも、全体では微増
- ◇ 高付加価値製品の住宅用高級軒天ボード（ラフォーレティンバー）は、引続き好調
- ◇ 非住宅売上高は、都市型高層ビル需要の本格化により大幅増収（+17.8%）  
→非住宅売上高比率+2.8%向上（17.5%→20.3%）
- ◇ セグメント利益は、原材料費、燃料費のコストアップがあったものの、収益・コスト改善や高付加価値製品の拡販により大幅増益
- ◇ 尚、予想比でも、軒天ボードや耐火パネルの売上高が伸長し、セグメント利益は大幅な上振れ

## 〈実績比較〉

(単位:百万円)

	2018/4期 実績	2019/4期 実績	前期比	
			増減金額	増減率
売上高	6,746	7,144	+398	+5.9%
国内	3,683	4,241	+557	+15.1%
海外	3,062	2,903	△158	△5.2%
(海外比率)	(45.4%)	(40.6%)	—	—
セグメント利益	1,200	942	△257	△21.5%

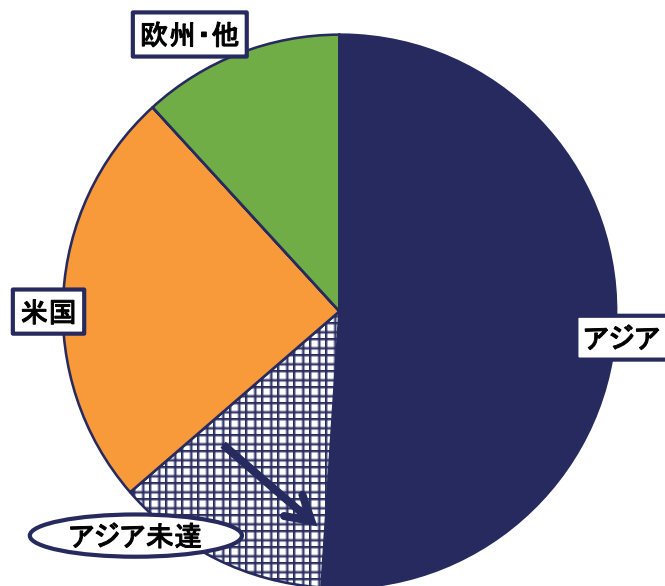
- ◇ 売上高は、国内の酸化マグネシウムの拡販を中心として増収
- ◇ 海外売上高は、米国欧州向けは増加したものの、難燃水酸化マグネシウムが、製造設備不調による販売調整のため減収  
⇒製造設備の不調は解消済み
- ◇ セグメント利益は、売上は増加したものの、原材料費・燃料費のコストアップ・償却費等の負担増により減益

## 〈予想比較〉

(単位:百万円)

	2019/4期		予想比	
	期初予想	実績	増減金額	達成率
売上高	7,400	7,144	△255	96.6%
内 海外	3,318	2,903	△414	87.5%
(海外比率)	44.8%	40.6%	—	—
セグメント利益	1,239	942	△297	76.0%

※予想海外売上高（網掛けは未達部分）



- ◇国内売上高は増加したが、海外売上高は未達
  - ・米国の酸化マグネシウム拡販は概ね予想通り
  - ・しかし、アジアは設備不調による販売調整から一時的に難燃水酸化マグネシウムが大幅未達  
→2019年5月に拡張設備を導入済みであり、今後は生産安定
- ◇セグメント利益は予想比未達
  - ・原材料のコストアップや販売価格値上げは概ね予想どおり、売上未達、及び予想以上の燃料価格の高騰により未達



(単位:百万円)

	2018/4期 期末	2019/4期 期末	前期末比
現金及び預金	933	1,277	+344
売上債権	4,665	4,740	+74
たな卸資産	3,984	3,737	△247
建物、機械装置等	6,269	6,449	+180
資産計	19,393	19,611	+218
仕入債務	3,150	3,471	+320
借入金	5,144	5,062	△81
負債計	12,635	12,452	△183
純資産計	6,757	7,159	+402
負債・純資産計	19,393	19,611	+218
(自己資本比率)	34.8%	36.4%	+1.6%

(単位:百万円)

	2018/4期	2019/4期
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,070	2,331
実質営業キャッシュフロー	1,630	1,893
運転資金キャッシュフロー	△337	493
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,024	△1,665
固定資産の取得	△1,025	△1,742
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△50	△321
借入金純増減(減:△)	259	△81
配当金の支払	△247	△183
4. 現金・現金同等物増減(減:△)	△4	344
5. 現金・現金同等物当期末残高	933	1,277

※ 実質営業キャッシュフロー = 税引前当期純利益 + 減価償却費

※ 運転資金キャッシュフロー = 売上債権増減 + たな卸資産増減 + 仕入債務増減

## Ⅱ 中期経営計画（ローリング）



## ・中期的な事業環境認識

国内住宅建材業界は、中期的には、少子高齢化と人口減少により縮小傾向

## ・中期の経営戦略

### (1) 基本方針

成熟産業である「住宅分野」から、現有事業の成長産業である「化成品（マグネシウム）分野」への事業転換、及びアーリーステージの「セラミックス分野」の育成

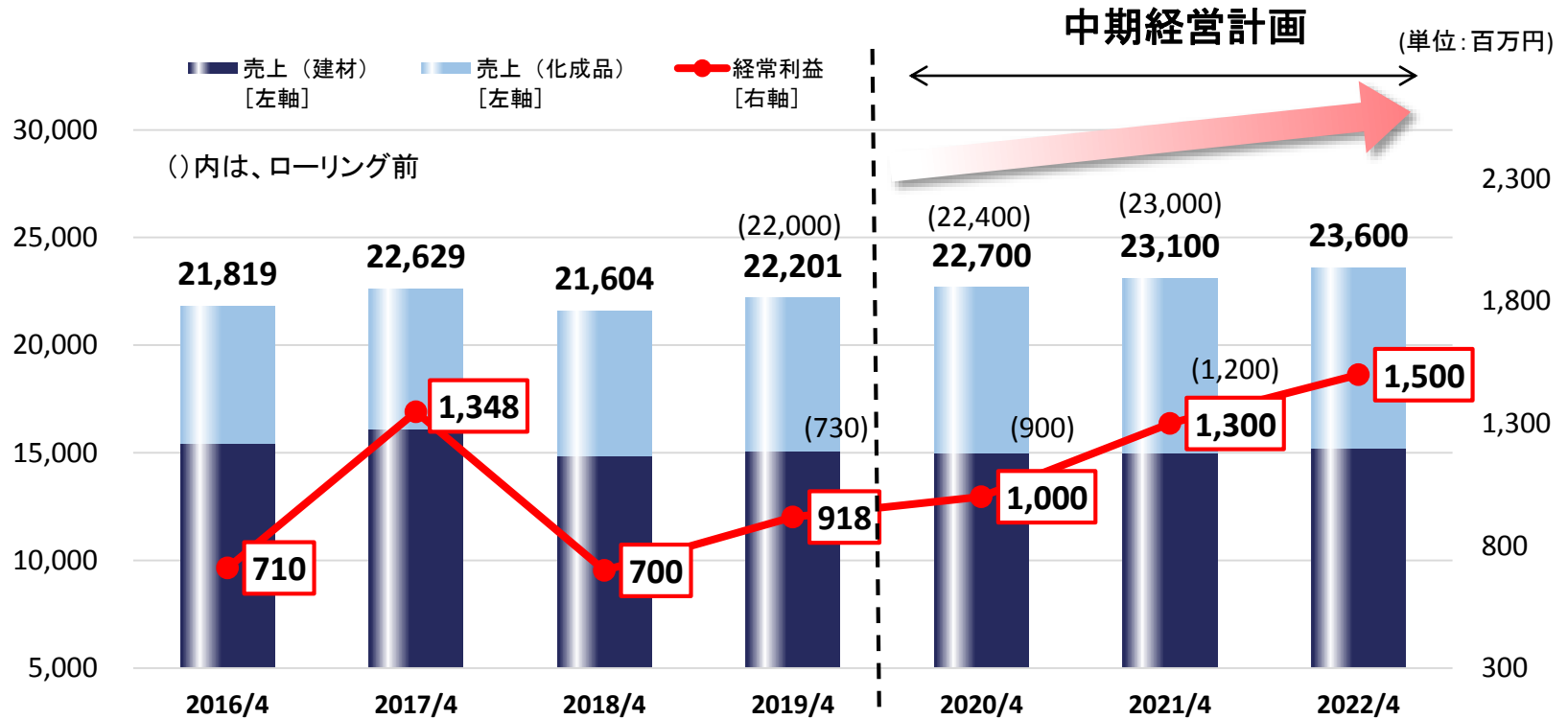
### (2) 基本戦略

- ① 建材事業から化成品事業への業態変換
- ② セラミックス事業の本格的事業化
- ③ 住宅から非住宅へのエネルギーシフト
- ④ 住宅分野は、高級化路線

(単位:百万円)

	2019/4期 実績		2020/4期 期初予想		予想実績比	
		内 上期		内 上期	金額	増減率
売上高	22,201	11,103	22,700	11,330	+498	+2.2%
建材	15,056	7,579	15,000	7,600	△56	△0.4%
化成品	7,144	3,523	7,700	3,730	+555	+7.8%
営業利益	948	334	1,060	500	+111	+11.8%
経常利益 (経常利益率)	918 (4.1%)	309 (2.8%)	1,000 (4.4%)	470 (4.1%)	+81 —	+8.9% —
当期純利益	661	209	700	330	+38	+5.9%
減価償却費	1,024	499	1,140	551	+116	+11.4%
設備投資額	1,254	1,017	1,200	—	△54	△4.3%
配当(円/株) (配当性向)	20 (27.7%)	10 (43.7%)	20 (26.2%)	10 (27.7%)	— —	— —

- ◇ 建材事業売上高は、引続き都市型高層ビル向けの耐火パネル・高級軒天ボードが概ね横ばい
- ◇ 化成品事業売上高は、前期の難燃水酸化マグネシウム製造設備の不調影響解消、更に酸化マグネシウム拡販により増収
- ◇ 損益面は、償却費等のコストアップが見込まれるものの、売上高増加、採算性向上等により増益予想

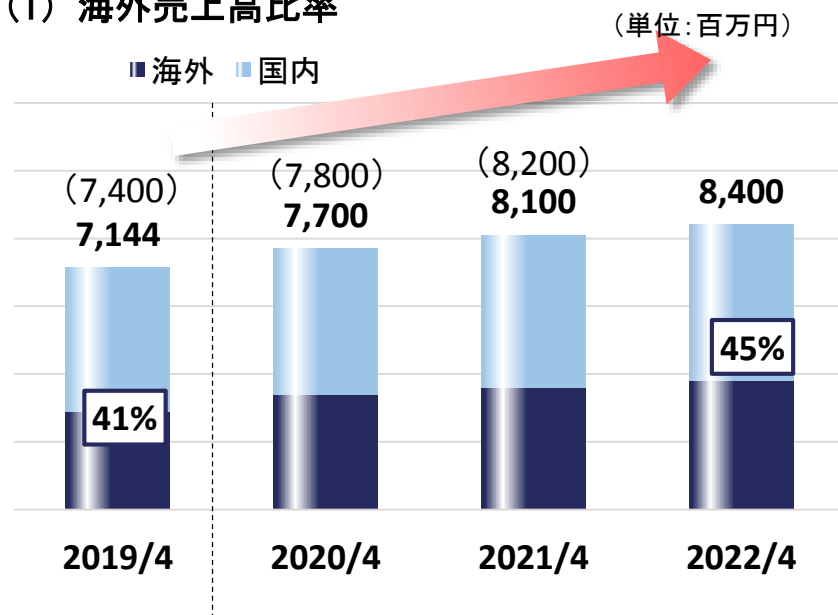


経常利益率	3.3%	6.0%	3.2%	4.1%	4.4%	5.6%	6.4%
自己資本比率	29.1%	33.5%	34.8%	36.4%	38.0%	40.5%	43.2%
総資産	18,936	19,217	19,393	19,611	20,090	20,690	21,440
純資産	5,515	6,446	6,757	7,159	7,630	8,370	9,260
設備投資額	1,423	1,646	1,219	1,254	1,200	1,700	1,600
研究開発費	623	690	689	723	740	760	780

## ①化成品事業(マグネシウム)は引続き当社の成長エンジン

化成品事業売上

### (1) 海外売上高比率



### 《 中期計画の概要 》

- ・ 当初計画より出遅れているものの、着実に実績をあげており引き続き海外で酸化マグネシウムの拡販に注力
- ・ 海外売上高比率も50%へ . . . (1)
- ・ 全体に占める化成品売上高比率は、現状の3割から4割代へ . . . (2)
- ・ 海外営業体制の更なる強化 (ダイレクトマーケティング)
- ・ 将来へ向けての新技術の開発 (研究機関への人員派遣)

### (2) 全体に占める化成品売上高比率

2019/4	2020/4	2021/4	2022/4
32%	34%	35%	36%
(34%)	(35%)	(36%)	

( )内は、ローリング前



## 新たな機能性新製品の商品化

### 電子顕微鏡

#### 【合成ベーマイト】

(特徴)  
耐酸性、耐アルカリ性

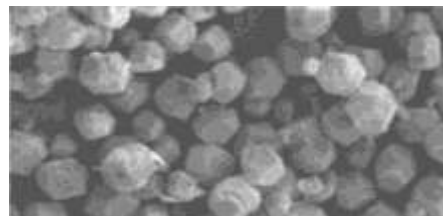


### 使用用途例

エコ電線、エンプラ部品

#### 【合成マグネサイト】

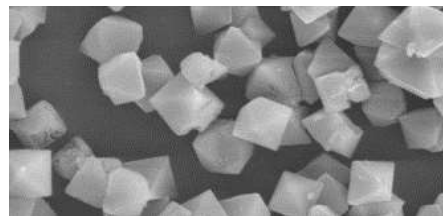
(特徴)  
耐熱伝導性



EV車エンプラ部品、放熱シート

#### 【合成タイチャイト】

(特徴)  
透明性維持



樹脂添加剤、研磨剤

- ・ 機能性新製品を新規市場へ投入  
展示会に出展し、積極的にアピール  
2018年度実績 『NPlus2018・新機能性材料展』



## ②セラミックス事業

### 国家プロジェクト・大型プロジェクト中心から民生用素材への重点移行そして量産化へ

蛍光体

→2020年からの実装に向けて量産化  
さらに高性能化を進め次世代モデルに搭載し拡販

蓄冷材GOS

→NMR/MRI等に向けた極低温用途、販売増加

ファイバーレーザー用大型アイソレーター TGG(Tb<sub>3</sub>Ga<sub>5</sub>O<sub>12</sub>)TAG(Tb<sub>3</sub>Al<sub>5</sub>O<sub>12</sub>)

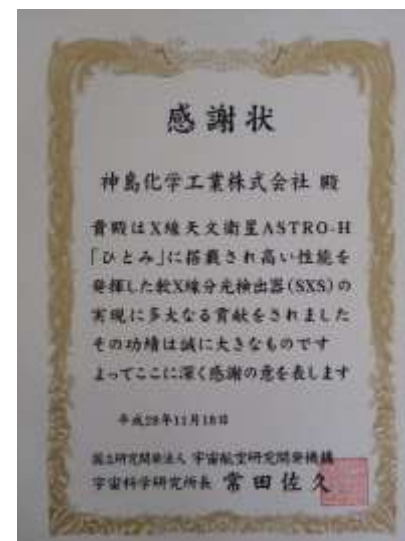
→単結晶からセラミックスへの代替・品質の安定化を証明し、量産化へ

### <X線天文衛星「ひとみ」(ASTRO-H)へのGLFの貢献>

2016年2月に打ち上げられたX線天文衛星ASTRO-H「ひとみ」に搭載された「軟X線分光検出器(SXS)」の実現に貢献  
⇒国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)より感謝状



「軟X線分光検出器(SXS)」の  
極低温冷凍機に対応するため、  
当社が開発に成功した製品  
『GLF(GdLiF<sub>4</sub>)』



## トピックス

接合・研磨技術 → **世界で唯一無二**（単結晶では不可能）

### <新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)より表彰状授与>

株式会社デンソーと株式会社リコーと共に  
平成25年7月～平成29年2月まで「戦略的省エネルギー技術  
革新プログラム」で「コージェネレーション用ガスエンジン向け  
レーザー点火システムの開発」

⇒NEDOから平成31年2月1日表彰状



接合透明セラミックス「Nd:YAG/Cr:YAG」



### <高解像度X線イメージング検出器の開発>

200ナノメートルの構造を解像できる高解像度X線イメージン  
グ検出器の開発に参画

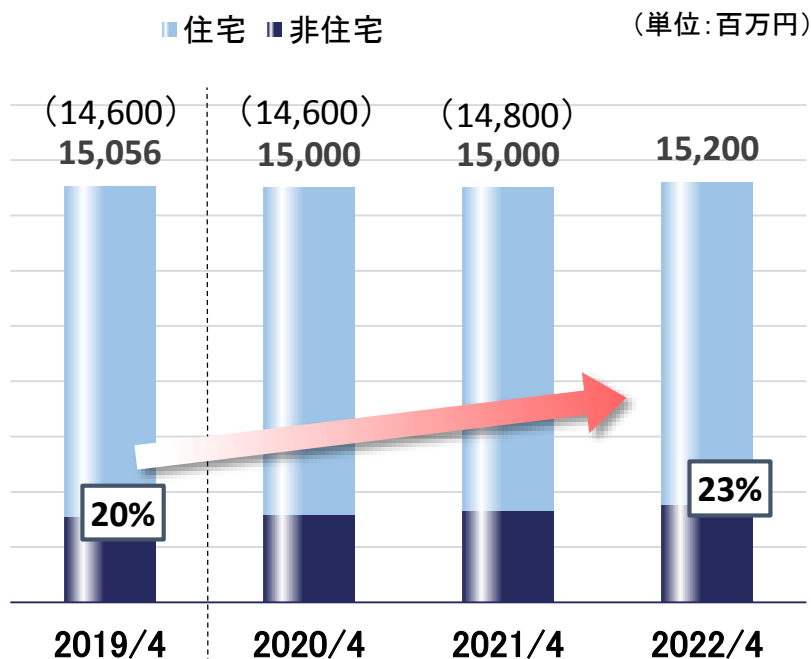
⇒高輝度光科学研究センター(JASRI)  
計測技術開発チームの亀島敬研究員  
(理化学研究所 放射光科学研究センター データ  
処理系開発チーム 客員研究員)と、  
理化学研究所 放射光科学研究センター データ処理系  
開発チームの初井宇記チームリーダーが実施



接合LuAGセラミックスシンチレーター

## ③住宅分野から非住宅分野（公共・商業施設等）へ転換

窯業系建材事業売上



20%	21%	22%	23%
(19%)	(21%)	(23%)	
非住宅比率			

( )内は、ローリング前

### 《 中期計画の概要 》

- ・ 非住宅比率を上げ、住宅着工減少に対応可能な体制づくり
- ・ 強みを有する耐火パネルの都市型高層ビル等への更なる本格的取り込み
- ・ ラムダとの技術交流による2018年グッドデザイン賞受賞の遮音板の拡販
- ・ ケイカル板の非住宅分野への販路拡大



## ④住宅分野は、採算性重視、高級化路線

- ・ 強みの軒天ボード・破風板は、高級品化（ラフォーレティンバー・ラフォーレグレイス）を更に促進  
⇒ 好評な高級軒天ボードは、職人不足対応としてプレカット対応品等省施工品や新柄商品も加え、新工法「軒天金具工法 アトラフィット」も確立し、更に拡販
- ・ 収益商品であるプライケイカルの拡販へ注力
- ・ 防火サイディングは、採算性を重視した海外輸出に本格的参入

軒天井ボード  
〈ラフォーレティンバー〉



KCモール  
〈ラフォーレグレイス〉



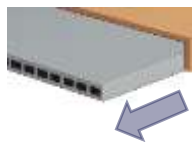
## 木造建築最高レベルの高性能遮音床

三菱地所ホーム株式会社様と共同開発し、  
2018年度グッドデザイン賞を受賞しました。



### 遮音性に優れた基材 「SSボード」

真空押し成形とオートクレーブ養生により製造されます。  
緻密に結合したバモライト結晶体により、  
**高密度・高強度・高剛性**を有する基材となります。



真空押し成形

+



オートクレーブ養生

### 遮音性を維持したバランスのとれた基材

断面の中空形状により、重機を使わずとも人力で施工できる重量まで軽量化しております。



### 高減衰ゴムを用いた吊木 「SS高減衰吊木」

自動車部品をはじめ、免震ビルシステムなどで培われた高い振動防振技術。その技術から生まれた高減衰ゴムを用いた吊木で、階下に伝わる衝撃を大幅に抑制することを可能にしました。



「軒天金具工法 アトラフィット」が軒天材の「常識」を変える。

## ◆世界初の軒天金具工法

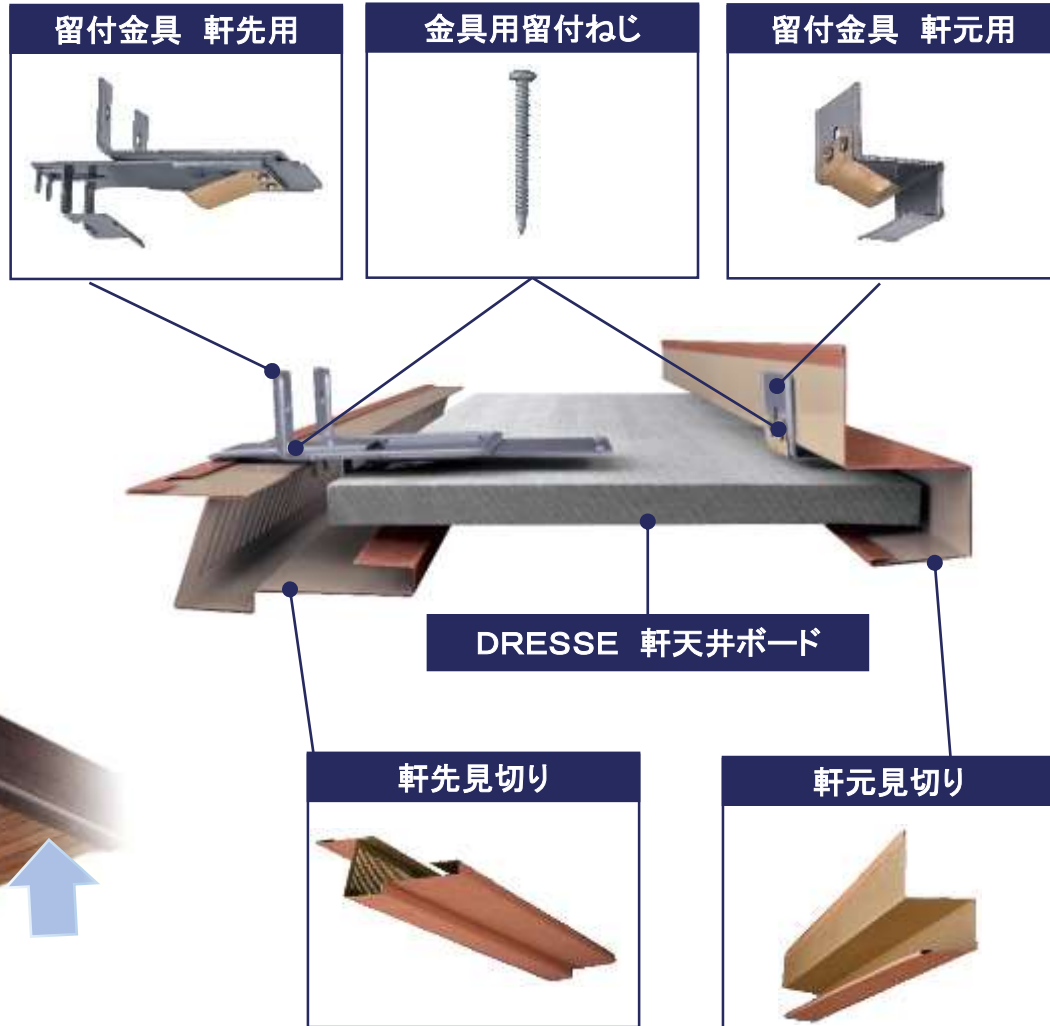
寸法変化の少ない、高品質な軒天井との組み合わせにより実現

## ◆留め付け・補修の手間を大幅に削減

取り付けた金具に差し込むだけ。釘打ち不要の簡単施工です

## ◆意匠性の高い軒天材の施工に最適

釘頭周辺の補修を必要としないため、複雑な柄の軒天材が可能に。



## Ⅲ 株主還元



## ◆ 配当方針

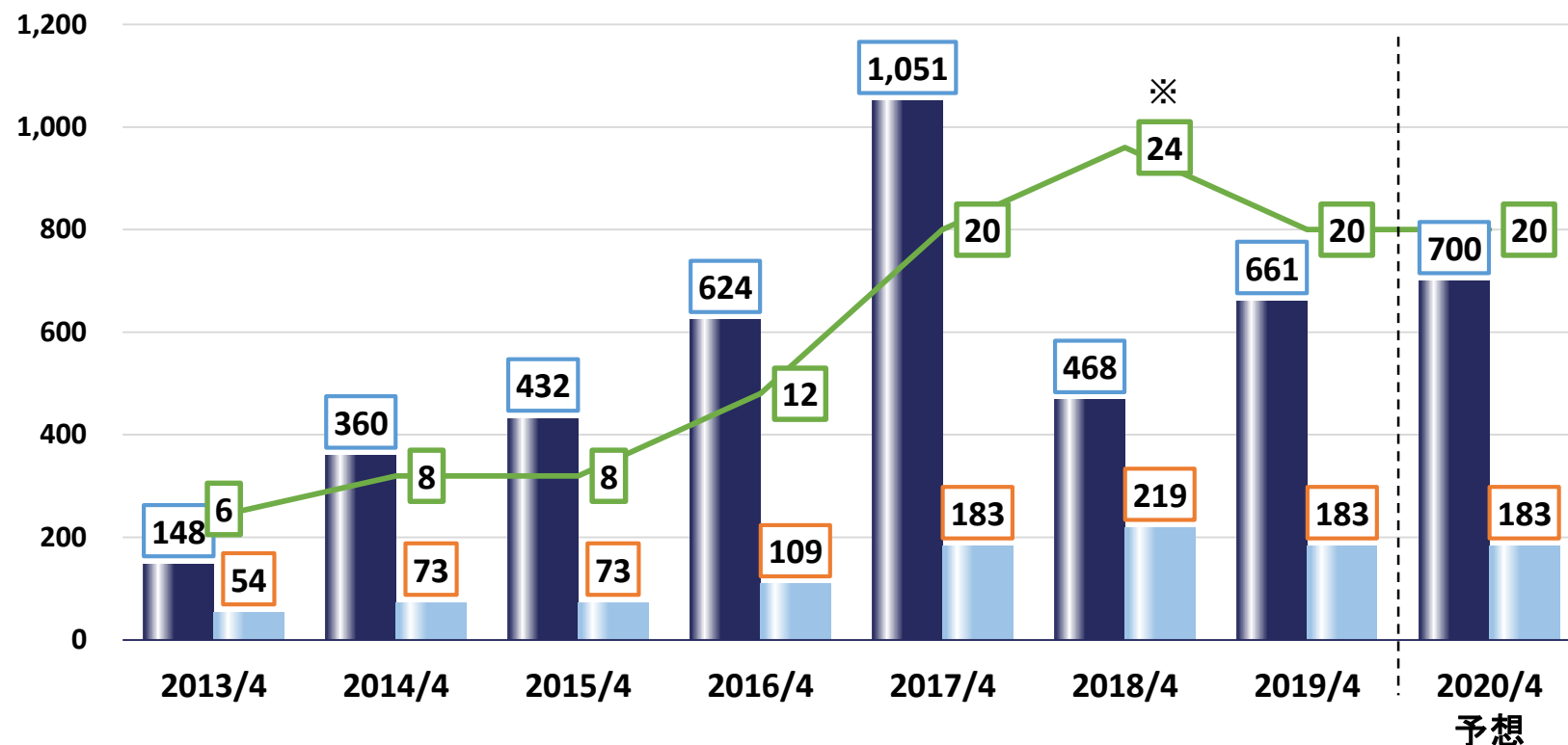
- ・ 利益水準、配当性向及び内部留保の確保等を総合的勘案

## ◆ 配当予想

- ・ 2020年4月期は、年間配当20円を予想

(単位:百万円)

■ 当期純利益    ■ 配当総額    — 配当 (円/株)



配当性向	37.1%	20.4%	16.9%	17.6%	17.4%	46.9%	27.7%	26.2%
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※内4円は、創業100周年記念配当



# IV 補足資料



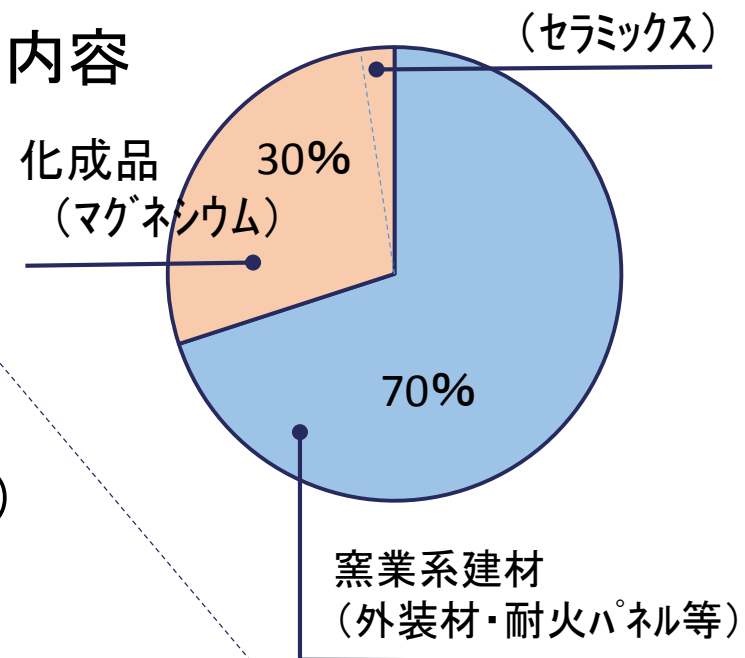
## 経営の基本方針

無機化学の可能性を追求し

**「顧客満足を第一に考え、  
より広く深く社会に貢献していく」**

創業 1917年6月  
設立 1946年3月  
資本金 13億20百万円  
従業員 616名  
売上高 222億1百万円（2019年4月期）  
代表者 代表取締役社長 池田和夫

### 事業内容



設立

1917年

創業 (株)神島硫酸製造所  
(後の神島人造肥料(株))



1946年

1949年

炭酸マグネシウムの製造を開始

1957年

酸化マグネシウムの製造を開始

けい酸カルシウム板の製造を開始

1972年



押出法による  
DRESSEの製造開始

1984年

1989年

科学技術庁無機材質研究所との共同研究で  
YAGの合成に成功 製品化に着手



事業譲渡を受け、  
ラムダ事業を開始

2015年

2006年

難燃水酸化マグネシウムの製造開始



テクニカルセンターの開設

2018年

2017年

創業 100周年



現在



# IV-1.当社について【拠点】



## ・住宅分野（外装）



### 不燃外部造作材（破風板）

寒冷地域の凍害にも強い「押出製法」の外部造作材  
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞



### 不燃軒天ボード

木目柄、布目柄など多彩なバリエーションの  
軒天ボード  
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞



### 防火サイディング

18mm厚以上に特化した深彫りで本物志向の高級外壁材  
職人の高齢化に対応した省施工「プレカット」対応





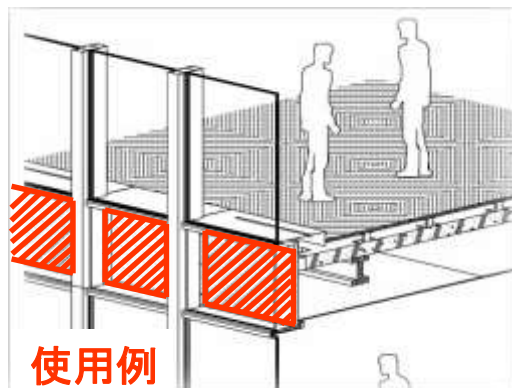
## ・非住宅分野(外装)

### ソニックライトパネルNAS

- ・中・高層ビルのカーテンウォール工法分野でシェア独占  
国内最大サイズのパネルを完全プレカット



虎ノ門ヒルズ



使用例

### LAMBDA ラムダ

- ・高強度により、  
最高31mの中高層の建物にも対応
- ・塗装によりメタリックやパールの光沢感、  
コンクリートの風合



## ・非住宅分野(外装)



- ・あらゆる外観を美しく魅せ、リアルな質が評価され  
様々な施設などで活用されており、広がりを見せております。



「海水法」により、「安価」で「安定供給」可能  
粒子形状コントロール技術をマグネシウム化合物以外へ展開可能



## 使用用途例

酸化マグネシウム  
(スターマグ)



- ・プラスチック部品
- ・合成ゴム部品
- ・医薬用原薬、ミネラルサプリメント
- ・接着剤など



難燃水酸化マグネシウム  
(マグシーズ)



- ・エコ電線被覆材
- ・自動車・家電用電線被覆材など



炭酸マグネシウム



- ・天然ゴム製品
- ・プラスチック部品
- ・塗料、飼料など





## <海水法による製造工程の一例(酸化マグネシウム)>

原料



焼成

消和

反応

①



精製



②



製品



焼成

③



洗浄



乾燥

- ① 海水にアルカリを添加  
 $[Mg^{2+} + 2OH^- \Rightarrow Mg(OH)_2]$
  - ② 沈降分離槽で沈殿を回収
  - ③ キルンで焼成  
 $[Mg(OH)_2 + \text{熱エネルギー} \Rightarrow MgO + H_2O]$
- ※2016年10月にキルンを中心とした増産設備を導入

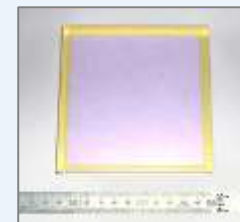
## 世界初「透明・大型セラミックス」の開発に成功

### 使用用途例

レーザー加工機、レーザーセンサー、シンチレータなど

#### レーザー核融合発電（慣性核融合発電）

レーザーで水素の核融合反応を起こさせて、エネルギーを取り出す発電システム。  
この研究開発は、当社のYAGセラミックスを使用



大出力レーザー用  
大型YAGセラミックス

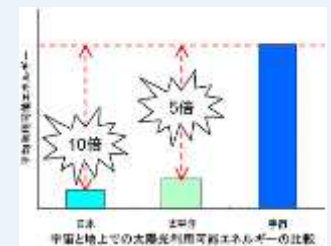
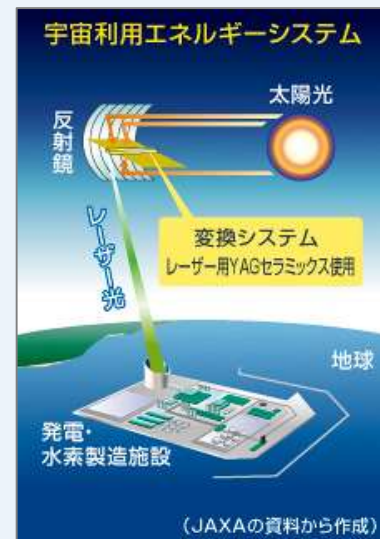


大阪大学 レザ-科学研究所 右：ターゲットチャンパー 左：ビームライン

#### 宇宙太陽光利用システム（SSPS）

ミラーで集光した太陽光でレーザー媒質を励起させてレーザー発振させる。

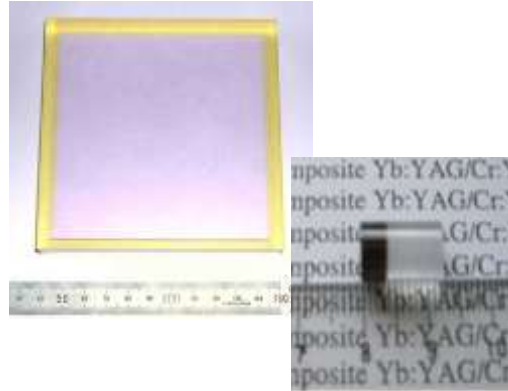
当社は、太陽光を効率よく励起させられるレーザー結晶の作製を、世界で初めて成功させた。（YAGセラミックス一部使用）



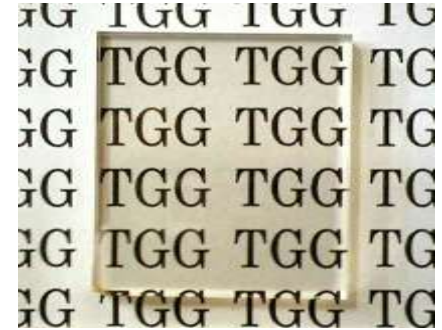
#### セラミックス



## ◆レーザー用結晶



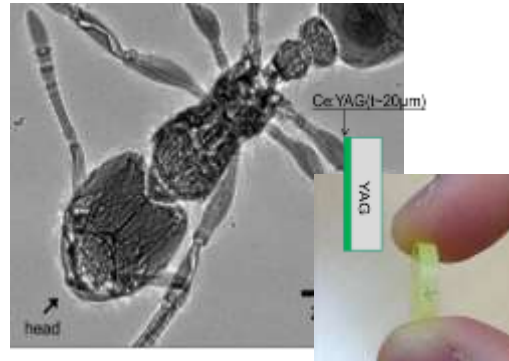
## ◆アイソレータ用結晶



## ◆シンチレータ



大型放射光施設SPring-8  
「国立研究開発法人理化学研究所」提供



高分解能X線イメージング装置を使用して撮影した映像  
「国立研究開発法人理化学研究所」提供

## ◆蛍光体



## レーザー研究に関する動向

世界は超高出力(10PW)・高繰り返し(10Hz)へ  
(セラミックスでしか到達できない領域へ)

## 世界の開発状況

### 日本

大阪大学のレーザー科学研究所や国内メーカー数社などが、国家プロジェクト(内閣府、NEDO、JST)で開発。

### アメリカ合衆国

Rochester大学やLawrence Livermore研究所で開発を進め、世界を牽引。

### EU(欧州連合)

連合各国で資金を出し合い、HiLASEやELIと呼ばれる二大プロジェクトを展開。世界初の100J級セラミックレーザーを開発。大出力レーザー研究の牽引役となりつつある。

## 研究内容

物理学・量子学(フォトン・プラズマ等)の解明、MRI、レーザー核融合発電など





## 主旨

神島化学は、これまでの100年をその技術力を根底に発展しこの先も独自の技術開発を行う  
これら技術力を培うベースとして100周年を記念しテクニカルセンターを建設

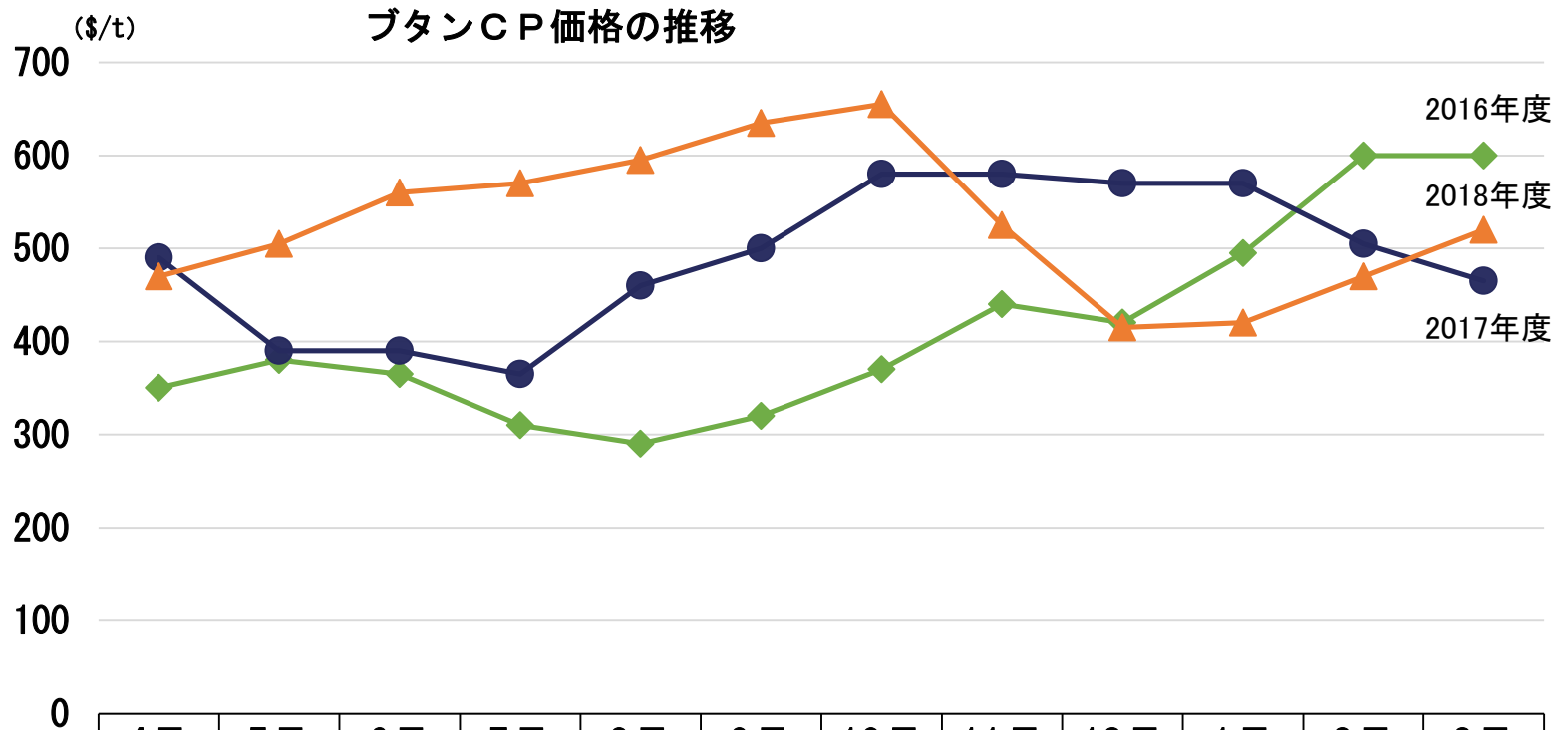
## 方針・コンセプト

- ① 市場要求対応
- ② 独自技術開発
- ③ 人材教育

## 概要

名称	テクニカルセンター
総投資額	約12億円
完成	2018年5月
建設地	香川県三豊市詫間町（第2工場）
延床面積	技術棟（3階建て） 約2,400㎡ 試験場棟（1階建て） 約2,000㎡

# IV-3.原材料市況価格の推移



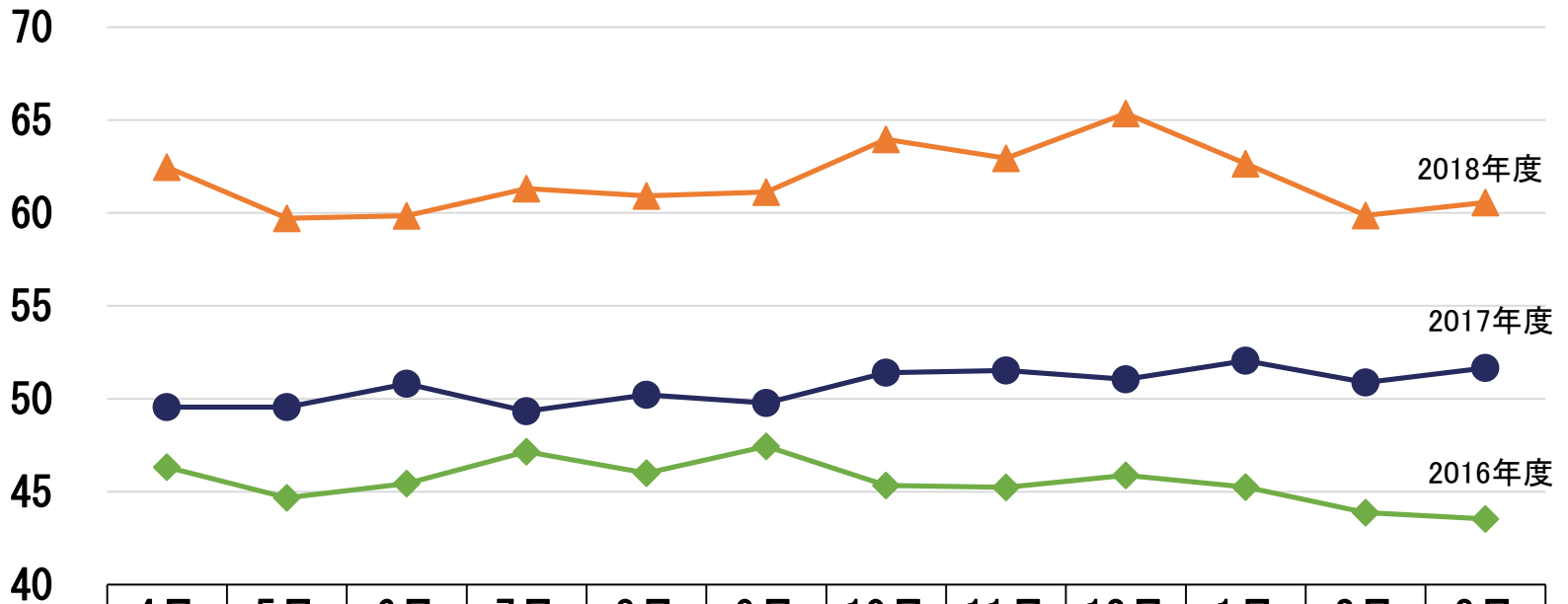
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◆2016年度	350	380	365	310	290	320	370	440	420	495	600	600
●2017年度	490	390	390	365	460	500	580	580	570	570	505	465
▲2018年度	470	505	560	570	595	635	655	525	415	420	470	520

参考: サウジアラビアCP

# IV-3.原材料市況価格の推移

(円/kg)

苛性ソーダ(液体97%換算・固形有姿)価格の推移

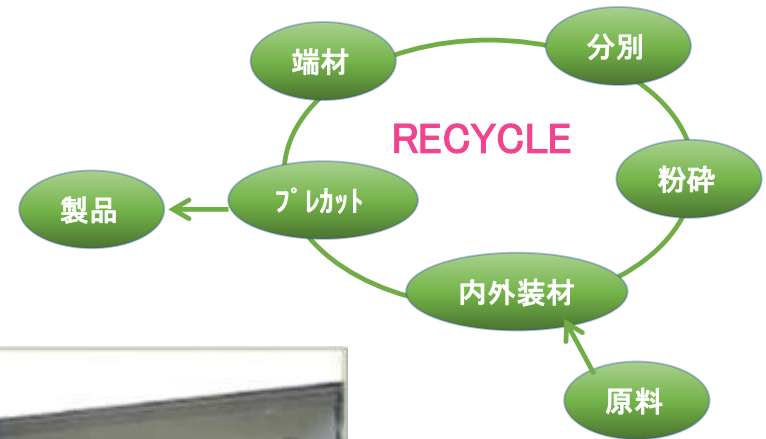


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
◆ 2016年度	46.3	44.7	45.4	47.2	46.0	47.5	45.3	45.2	45.9	45.3	43.9	43.5
● 2017年度	49.6	49.5	50.8	49.3	50.2	49.8	51.4	51.5	51.0	52.1	50.9	51.7
▲ 2018年度	62.5	59.7	59.8	61.3	60.9	61.1	64.0	62.9	65.3	62.7	59.9	60.6

参考: 経済産業省生産動態統計年報

## 地球の未来のために

神島化学ではECOで社会に貢献しています。



### 建築現場での建材ゴミの軽減に

工場での建材プレカット化を推進しています。  
もちろん、カット端材は全てリサイクルしています。



### リサイクル原料の使用

神島化学の建材は3種類のリサイクル原料を使用しており、その割合は50%にもなります。

### パレット・緩衝材のリサイクル使用

出荷したパレット・緩衝材は極力回収し、点検・補修を行った上で再使用しています。



### 住宅のメンテナンス費用を削減する建築材料

高耐久建材製品の開発に力を入れて、メンテナンス費用と回数の削減に一役買っています。

### 省エネ施工の建築材料

簡単取り付けの金具施工建材で建築現場での省エネに努めています。





